



スケジュールしたジョブの管理

この章では、BPS のアクティブ化とジョブのスケジュール設定について説明します。

一括トランザクションのスケジュールを設定して、これらのトランザクションを開始する必要がある時刻を指定できます。Cisco Unified Communications Manager Administration の [一括管理 (Bulk Administration)] メニューから送信されたジョブはすべて、Bulk Provisioning Service (BPS) のキューに入れられます。ジョブに対して指定した開始時刻によって、トランザクションの実行が開始されます。開始時刻が指定されていない場合、トランザクションは受信された順番で実行されます。

- [Bulk Provisioning Service のアクティブ化 \(1 ページ\)](#)
- [BPS の起動、停止、および再起動 \(2 ページ\)](#)
- [BPS の非アクティブ化とログアウト \(3 ページ\)](#)
- [BPS に送信されたジョブの検索 \(3 ページ\)](#)
- [送信済みジョブのスケジュール \(5 ページ\)](#)

Bulk Provisioning Service のアクティブ化

実行するためにジョブを送信する前に、Bulk Provisioning Service (BPS) をアクティブにする必要があります。

BPS は、アクティブ化されると自動的に起動します。サービスが起動するごとに、BPS は Cisco Unified Communications Manager データベースと同期されます。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified Communications Manager Serviceability] ウィンドウから、[ツール (Tools)] > [サービスのアクティブ化 (Service Activation)] の順に選択します。
[サービスのアクティブ化 (Service Activation)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [サーバ (Server)] ドロップダウンリストボックスから、Cisco Unified Communications Manager を実行しているサーバを選択します。
- ステップ 3** [データベースおよび管理者サービス (Database and Admin Services)] 領域で、**Cisco Bulk Provisioning Service** に対応するチェックボックスをオンにします。

(注) サービスが既にアクティブな場合、[Activation Status] に [Activated] と表示されま
す。

ステップ 4 [Update] をクリックします。

ウィンドウが更新され、Bulk Provisioning Service に対応する [アクティブ化ステータス (Activation Status)] に [アクティブ化 (Activated)] と表示されます。

関連トピック

[BPS の起動、停止、および再起動 \(2 ページ\)](#)

[Tool for Auto-Registered Phone Support のユーザ ロケール関連のトピック](#)

BPS の起動、停止、および再起動

Bulk Provisioning Service (BPS) を手動で停止または再起動できます。



(注) BPS は、Cisco Unified Communications Manager Serviceability を使用してアクティブ化することで自動的に開始されます。

手順

ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager Serviceability で、[ツール (Tools)] > [コントロール センター：機能サービス (Control Center - Feature Services)] の順に選択します。

[コントロールセンター：機能サービス (Control Center-Feature Services)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [サーバ (Servers)] ドロップダウンリストボックスから Cisco Unified Communications Manager サーバを選択します。

Cisco Bulk Provisioning Service が、[データベースおよび管理者サービス (Database and Admin Services)] 領域の [サービス名 (Service Name)] 列のリストに表示されます。

(注) BPS がすでにアクティブになっている場合は、[アクティベーションステータス (Activation Status)] に [アクティブ (Activated)] と表示されます。

ステップ 3 BPS に対応するチェックボックスをオンにして、次のいずれかを実行します。

- a) BPS を再起動するには、[再起動 (Restart)] をクリックします。
サービスが再起動し、「Service Successfully Restarted」というメッセージが表示されます。
- b) BPS を停止するには、[停止 (Stop)] をクリックします。
サービスが終了し、「Service Successfully Stopped」というメッセージが表示されます。
- c) 停止した BPS を開始するには、[開始 (Start)] をクリックします。

サービスが起動し、「Service Successfully Started」というメッセージが表示されます。

BPS の非アクティブ化とログアウト

BPS を非アクティブにした後は、このツールを使用する必要がなければログアウトすることができます。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager Serviceability で、[ツール (Tools)] [サービスのアクティブ化 (Service Activation)] の順に選択します。
[サービスのアクティブ化 (Service Activation)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2 [サーバ (Servers)] ドロップダウンリストボックスから Cisco Unified Communications Manager サーバを選択します。
Cisco Bulk Provisioning Service が、[データベースおよび管理者サービス (Database and Admin Services)] 領域の [サービス名 (Service Name)] 列に表示されます。
- ステップ 3 Cisco Bulk Provisioning Service に対応するチェックボックスをオフにして、[更新 (Update)] をクリックします。
サービスが非アクティブになり、[ステータス (Status)] 列に [非アクティブ (Deactivated)] ステータスが表示されます。

BPS に送信されたジョブの検索

Cisco Unified Communications Manager Administration 上の [一括管理 (Bulk Administration)] メニューを介してすでに BPS に送信されたジョブを検索できます。

手順

- ステップ 1 [Bulk Administration (一括管理)] > [Job Scheduler (ジョブスケジューラ)] を選択します。
[ジョブの検索/一覧表示 (Find and List Jobs)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2 最初の [ジョブの検索 (Find Job where)] ドロップダウンリストボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。
 - ユーザ
 - ステータス
 - Job ID
 - 説明

- Scheduled Date Time

(注) ジョブを検索するときには、人間が判読できる日付ではなく、エポックタイムを使用してください。たとえば、「July 2015」ではなく「1438171」を使って検索します。

ステップ3 2番目の[ジョブの検索 (Find Job where)] ドロップダウンリストボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。

- ~で始まる
- ~を含む
- 次の文字列と完全に一致する
- 次の文字列で終わる
- 空である
- ~が空ではない

ステップ4 3番目のドロップダウンリストボックスから、[表示 (Show)] を選択して、完了したジョブを表示します。

ステップ5 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索 (Find)] をクリックします。

さらにクエリを定義するには、[AND] または [OR] を選択して複数のフィルタを追加し、[ステップ2 \(3 ページ\)](#) ~ [ステップ5 \(4 ページ\)](#) を繰り返します。

ヒント データベースに登録されているすべてのジョブを検索するには、検索テキストを何も入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

検出されたジョブのリストが次の分類で表示されます。

- Job ID
- Scheduled Date Time
- 送信日時
- [シーケンス (Sequence)]
- 説明
- ステータス
- [最後のユーザ (Last User)]

(注) ジョブのスケジュール時に [後で実行 (Run Later)] ラジオ ボタンを選択した場合は、[ステータス (Status)] に [保留 (Hold)] と表示されます。[今すぐ実行 (Run Immediately)] ラジオ ボタンを選択した場合は、[ステータス (Status)] に [処理中 (Pending)] と表示されます。ジョブが完了している場合は [ステータス (Status)] に [完了 (Completed)] と表示され、エラーが発生したために完了できなかったジョブの場合は [未完了 (Incomplete)] と表示されます。

ステップ6 スケジュール設定する (またはアクティブにする) 処理中または保留中のジョブのジョブ ID をクリックします。

[ジョブの設定 (Job Configuration)] ウィンドウが表示されます。

送信済みジョブのスケジュール

送信済みジョブをスケジュールできます。

手順

ステップ1 スケジュールするジョブを検索します。

ステップ2 [ジョブの設定 (Job Configuration)] ウィンドウで、ジョブのスケジュールとアクティブ化に関する設定を入力します。

次の表を参照してください。

表 1: ジョブの設定

フィールド	説明
[ジョブ ID (Job ID)]	ジョブの送信時に作成されたジョブ ID が表示されます。
[ジョブ ステータス (Job Status)]	次のいずれかのジョブ ステータスが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 保留 (Hold) • Pending • [完了 (Completed)] • [未完了 (Incomplete)]
Scheduled Date Time	ドロップダウンリストから、月、日、年を選択します。ジョブをスケジュールリングする時刻を入力します。
送信日時	ジョブが送信された日時が表示されます。
[シーケンス (Sequence)]	ドロップダウンリストから、ジョブの実行順序を選択します。1 から 20 までの番号を選択できます。 (注) 複数のジョブのスケジュール日時が同じである場合は、シーケンス番号に従ってジョブがBPS内のキューに入れられます。スケジュールされた日時と順序が同じである場合は、送信された日時に従ってジョブがキューに入れられます。
[職務内容 (Job Description)]	ジョブの作成時に入力した説明が表示されます。この説明は、任意の言語で最大 50 文字を含めるように編集できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックslash (\)、および山カッコ (<>) を含めることはできません。

フィールド	説明
[頻度 (Frequency)]	次のオプションの中から、トランザクションの頻度を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [一度 (Once)] • 月 1 回 • 週 1 回 • 毎日 • Hourly たとえば [毎日 (Daily)] を選択すると、毎日、[スケジュール日時 (Schedule Time and Date)] フィールドに入力された時刻にトランザクションが実行されます。
Job End Time	反復的な (頻度の高い) ジョブの終了時刻が表示されます。
[最終更新者 (Last Modified By)]	このジョブを最後に変更した管理者のユーザ ID が表示されます。

ステップ 3 スケジュールされた時刻のジョブをアクティブにするには [ジョブのアクティブ化 (Activate job)] をクリックします。または後でジョブをアクティブにする場合は、[保存 (Save)] をクリックして設定を保存します。

[ジョブの検索/一覧表示 (Find and List Jobs)] ウィンドウが表示されます。

(注) ジョブが保存されていても、まだアクティブになっていない場合は、ジョブのステータスが [保留 (Hold)] と表示されます。このようなジョブをアクティブ化しない限り、BPS では処理されません。

ステップ 4 すでにアクティブ化したジョブのジョブ ID をクリックします。[ジョブの設定 (Job Configuration)] ウィンドウで、完了、未完了、停止要求中、または処理中のすべてのジョブに関する次の情報が [ジョブの結果 (Job Results)] 領域に表示されます。

- ジョブの実行日時 (Job Launched Date Time)
- ジョブの結果の状況 (Job Result Status)
- 処理されたレコードの数 (Number of records Processed)
- 失敗したレコードの数 (Number of Records Failed)
- レコードの総数 (Total Number of Records)
- ログ ファイル名

(注) [ログファイル名 (Log FileName)] 列のリンクをクリックすると、このトランザクションのログファイルが表示されます。

次のタスク

ジョブのリストに戻るには、[関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストから [検索/一覧表示に戻る (Back to Find/List)] を選択して [実行 (Go)] をクリックします。

関連トピック

[BPS に送信されたジョブの検索](#) (3 ページ)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。